

### 海軍炭鉱本部庁舎の新築・移転(中) 海軍炭鉱・国鉄炭鉱の遺跡群(16)

前回に引き続き、志免町にあった海軍炭鉱の庁舎新築関係の図面を紹介します。

以下、図面はJACAR(アジア歴史資料センター) Ref.C04016865400・海燃採第304号庁舎新営の件、公文備考K土木建築巻20止(防衛省防衛研究所)から、分割撮影された部分はないでいます。

図面は「海軍燃料廠採炭部庁舎新営工事之図(縮尺百分之一)」(昭和四年五月六日調製)で、収録されているのは正面姿図・背面姿図・右面姿図・左面姿図・断面の五点。「断面」という文字のすぐ上の部分は半地下

構造の水洗トイレです(シーメイト建設時の発掘調査の際確かめています)。

比較のために当時の絵葉書(石瀧所蔵)から「庁舎」の部分に掲載しました。写真では右側が正面方向、左側が左側面方向になります。窓枠などに、図面との一致がみられ、写真からは見られない細かい部分を図面から読みとることができます。

なお、元の図面はいわゆる青写真とみられ、アジ歴の画像では、黒っぽい地に線や文字が白で表現されていますが、掲載時に白黒反転して見やすく加工しました。

